

9月13日

2021年
(令和3年)
月 曜 日

鉄鋼新聞

Japan Metal Daily

熱間穿孔機が稼働

10月から量産適用へ

三芳合金工業 金工業 備で、パイプの径を広げるために用いる。 導入により、注力製品である航空機用軸受素材のコスト競争力や納期対応力を強化し、中長期的な受注拡大を狙う。

現在稼働させているパイプ形状の太物材料製造に用いる熱間穿孔機



パイプ形状の太物材料製造に用いる熱間穿孔機

設備は中古品を購入し、本社工場に設置。設置に向けて工場の基礎工事などの準備を進めてきた。

三芳合金工業

バンドソー1台更新

能力増へ高効率機導入

三芳合金工業は本社工場でバンドソーを1台更新した。写真、鍛造加工前の材料を切断

高効率機を導入する。投資金額は1千数百万円となっている。今年6月に導入した

新たなバンドソーはパワーが強く、材料をこれまで以上に短時間で切断できることが特長。加えて



高強度な銅合金の切断により適した超硬素材の刃を使用でき、刃を交換する手間やコストを抑制できることもメリットとなっている。